

日蓮聖人門連だより

発行
日蓮聖人門下連合会
〒146-8544
東京都大田区池上1-32-15
電話 (03) 3751-7181

平成20年9月23日
第38号

立正安国論奏進七五〇年記念特別展
日蓮と法華の名宝
—華ひらく京都町衆文化—
期間 平成二十一年十月十日〜十一月二十三日
会場 京都国立博物館

『立正安国論』奏進750年 現代における教化活動とは

第7回 国柱会

未来を切り開く『立正安国論』



国柱会講師 **藤本坦孝**

●立正安国

日蓮聖人が『立正安国論』を著されてから間もなく七百五十年目を迎えるとして、国内に今迄には考えられなかった様々な問題が山積し、頼りとしていた科学もその発達によって益々世界が混迷を深めている有様で、新しい指導原理が希求されている。この様な状況は、『立正安国論』が書かれた時代と類同しており、現代は、地球規模の末法時代と言ってもよい気がする。この様な閉塞状態を乗り越えて未来を切り開く為に、『立正安国論』を、現代的観点に立って再読することが必要であろう。

および、主人の言葉、

汝早く信仰の寸心を改めて、速やかに実乗の一善に帰せよ。しからばすなわち三界はみな仏国なり。仏国それ衰えんや。十方はことごとく宝土なり。宝土なんぞ壊れんや。国に衰微なく、土に破壊なくんば、身はこれ安全にして心はこれ禪定ならん。この詞、この言、信ずべし、崇むべし。

●実乗の一善

ここで、立正の「正」が何を意味するかを確認しておこう。前掲の文における「実乗の一善」は、「法華経の教え」と理解される。それでは、具体的にどの様な教えを意味するのだろうか。

●『立正安国論』の主張は排他的か

『立正安国論』において日蓮聖人は、法然が、主著『選択集』において、数ある仏典の中から浄土三部経のみを選択し、他の総ての經典を「捨、閉、閑、抛」すべきものと規定していることを強く糾弾しておられる。その一方で、日蓮聖人御自身、法華経一經を取り上げ最勝とし、余経は無得道として退けられた。これでは、自家撞着ではないかとの懸念もまたれるところである。

『立正安国論』において日蓮聖人は、法然が、主著『選択集』において、数ある仏典の中から浄土三部経のみを選択し、他の総ての經典を「捨、閉、閑、抛」すべきものと規定していることを強く糾弾しておられる。その一方で、日蓮聖人御自身、法華経一經を取り上げ最勝とし、余経は無得道として退けられた。これでは、自家撞着ではないかとの懸念もまたれるところである。

日蓮聖人の教えに随う我々の任務は、世界全体が『法華経』の教えに帰依することにある。しかし、これを「一神教」で主張されている様に、ひとつの原理を立ててそれによって他を裁いていくことを目指すことではない。『法華経』の教えに帰依するとは、先ず世界全体が一体のものであることを信じていることである。現代の多くの問題は、お互いが、それぞれの自己の価値観に固執することによって起こっている。価値観がぶつかり合う場合、そのいずれが是かを争って決着をつけることではなく、それぞれが共に活かしあう道があることを信じ、協力してそれを求めなければならない。我々の願望は、多様な価値観が、全体として一体のものとならねばならぬ。それぞれの持ち味が発揮され、この様な世界を求め、この様な世界を現出することである。



「立正安国」の石碑（国柱会本部）

「方便品」では、「一乗の法のみあって、二もなく三もなし」として、「二仏乗」即ち「教法の統一」が説かれている。仏教には、よく八万四千の法門と形容される程多様な法門があるが、その目指すところは唯ひとつであり、「皆成仏道」、即ち、総ての存在に対し、「仏知見を開き、仏知見を示し、仏知見を悟らせ、仏知見に入らしめて」、仏道を完成せしめることである。種々の教えは、各人

この問題も、前述の『法華経』の教義、特に「一仏乗の教え」を踏まえて理解すべきであろう。あらゆる存在を一体のものとして捉え、総ての存在を処あらしめて活かしていくべきであると説く「一仏乗の教え」からみれば、浄土教のみを選んでそれ以外は閑知せず、と主張する法然は、謗法の徒と規定せざるを得ない。日蓮聖人が主張されたのは、法華経以外の諸教を、無視、若しくは撲滅する

といった排他的な考え方ではなく、むしろその逆で、それぞれの教えが状況を踏まえて説かれたものであるにも拘わらず、その一つを絶対化し、他の教えを、或いは考慮外に追いやり、或いは撲滅しようとする、その様な排他的な態度を破折されたものと理解される。

從地ゆじゆつ

最近の話題といえば、原油価格の高騰とそれに連動した物価高。他方では食品の偽装が発覚し食品の安全性が問われている。相変わらず殺人など凶悪な事件も多い。なかなか「平穏な毎日」というわけにはいかない。不安が募る…。

しかし、今ここに挙げた不安は全て人によって作られるもの。つまり人間様に問題があるのだ。その根源は自己中心な考え方、いわゆる「ジコチュウ」ではないだろうか。私も人間のほしく、れなので認めたくはないが…。

食品の偽装や殺人は、その最たるものであることは言うまでもない。思えば、昨年の「今年の漢字」には「偽」という字が選ばれていた。そんな状況は恥ずべきことであるのに。

例えば、ある人が自分の利益のことだけを考慮して行動すると、多くの場合それは他人の損害、迷惑になる。人間は一人で生きているわけではないので他人に損害を与えると、抵抗を受けたら、嫌われたりする。そしてそれは回り回って自分に還ってくる。自業自得ということだ。最初は自分の得になると思っただことなのに…。

他人のことは見えても、自分の姿は見えないもの。しかし我々には唯一自分の姿を知る方法がある。経文に照らして自己を見つめるのだ。日蓮聖人は法華経を「明鏡」と仰せである。鏡は姿を映すもの。まずは、明鏡たる法華経の信心によって自己を見つめ、自己中心の考え方をやめて、みんなの幸せを願うことが立正安国への第一歩である。

(哲)

『リレー提言⑥』門連の歩みと次代への発信

『立正安国』のご精神を今に



本頭 本行 寺住 職 朝倉俊幸

『青年の船』就航の思い出

振り返り見れば、昭和五十六年、宗祖日蓮聖人第七百遠忌の聖年の御報記念事業の一環として、「門下青年の船」の実施が決定された。各門下より準備委員が選任され、その前年より、池上の日蓮宗宗務院会議室に結集し、異体同心ところはひとつのスローガンのもと「青年の船」就航へ向けて協議会合が毎月のように開催された。

門下初の試みであった「青年の船」が無事就航出来たことは、参加された各派代表委員の方々の、この共同事業を完遂するのだと言う、信念と情熱に支えられたことであつた。

特に事前準備段階から実施運営、そして記録整理保存の最終段階に至るまで、会議の中心にあつて、委員相互の意見調整と相互理解の親睦の労を取られた、今は故人となられた富川孝恭上人の見事なリーダーシップは、宗我を超えて参加した各派の委員を鼓舞し、その後、人的交流に繋がった。

『立正安国』の本意とは

私も宗門の代表としてその末席に連なり、各派代表の委員の方々と熱い討論を交換させて頂いたことは、今もって懐かしく心の奥深く記憶に残っている。

昨今の社会世相を見渡すと、政局の混乱はもとより、『賞味期限疑惑』『産地疑惑』などの商道の乱れ、日々の報道に事欠くことのない『殺人事件』、教育の現場の興廃と生命の軽視等々。未だに止むことのない世界各地でのテロや戦争。まさに末法の極みと言え、殊にわが国は、いつからこんな精神後進国になってしまったかと憂慮するばかりである。

門下連合会理事・事務局役員レベルでの交流は、発足以来門下相互交流の成果を着実に重ねている最中、門下青年僧侶の交流を密にする絶好の機会であつた。この交流の場は、「青年の船」の企画運営という課題にとどまらず、門下各派の活動状況や情報交換をする上でも格好の機会ともなった。各派代表委員の方々も、個性豊かで論客も多く、それぞれ議論が大いに盛り上がり、誠に有意義な体験でありました。

宗祖の御在世の鎌倉時代は承久の乱をはじめ秩序の崩壊、天災や飢饉、疫病などが相次ぎ、今日の

現代危機の本質

先般の洞爺湖サミットにおける基本テーマは、「環境問題」であり、特に地球温暖化については深刻な状況下にある。科学技術の発展や消費経済の伸張が、石油の大量消費拡大、世界的エネルギー危機を招いた。

また、温暖化の影響下、世界各地での異常気象に伴う農作物の不作による食糧危機など、一層深刻な未来予想が警鐘を鳴らしている。現代に生きるすべての人類に深くしみこんでいる文明の享受と基本的価値観が、最終的に今日の抱えている諸問題の根源であるように思われる。

この問題解決のためには、世界規模による経済秩序の整備と、地球規模の資源の分配システムを必要とし、なおかつ個人の価値観・生活様式・自然生態との調和など総合的な視点で変換を必要としよう。

特に、全ての人類が共通の視点に立つて、危機的状況の共通認識を持ち、物的資源の使い捨てからリサイクルへの方向転換を一層努力する必要がある。生活の利便や利益を時代の子孫のために放棄する覚悟まで求められている。

古来、日本の日常倫理であった『もとのを粗末にはしない』『もつたない』と躰けられた教養は、価値観の転換の原点となろう。

共生の精神の啓発

正に、現代社会に突きつけられたテーマであり、改革のキーワードは「共生」という文字に集約されよう。

この「共生」のこころを啓発・実践するために必要なことは、『法華

経』の教えに象徴される『菩薩行』の実践に行きつこう。『自利利他』の精神に立脚し、他者の為にながせるかを、われわれ法華経信仰に生きる者の使命として、その精神の高揚と、率先した社会実践の実を挙げることが切望されよう。

日蓮聖人の『立正安国』の御主張を、業感の視点で捉え、と、社会の様々な現象には自分自身の責任である『別業』と他者との連帯的な『共業』の二つが、人それぞれにあると考える。

共業には、家族や友人や社員としての共業もあれば、国民または人類としてのそれもある。例えば会社が倒産すれば、社員はその結果を共にするし、日本が『非核国』という立場を堅守しても、隣国の核実験による放射能の影響は避けることはできない。

これらの共業を根本的に解決するためには、国家あるいは世界全体が修正するのではなく、人間ひとりの救いも完成されないという結論になる。

日蓮聖人が、敢えて『立正安国』を強調される所以がこの点にあるといえる。

熱心な法華経信仰者であった宮沢賢治の有名な「世界全体が幸福にならないうちは、個人の幸福はあり得ない」という言葉も、菩薩道の精神を表している。

現代社会（世界）がもたらした種々の問題や試練に真に向かい向き合って、われわれ一人一人が時代の『共業』を真摯に受け止め切り開いて行く覚悟が大切であろう。

『立正安国』の御精神の一分でも、日蓮聖人門下僧俗が一体となつて、社会浄化の為に、恒久平和の為に、菩薩行の実践に精進して参りたいものです。 合掌

PLUS JTB

ずっとあこがれていたあのお店へ、知る人ぞ知るギフト券で行きました。

価値ある時間の贈り物 おふたりの思い出を選ぶギフト券

JTBプレミアージュ

JTBプレミアージュは、特別なおふたりのための選択型ギフト券です。贈られたかたは、同封のカatalogから、厳選された店舗や施設でのグルメ、宿泊、エンタテインメント、ゴルフ、リラクゼーションいずれかのサービスを選び、おふたりでお楽しみいただくことができます。(券面は50,000円のみ。有効期間は発行の翌日から1年間です。)

プレミアージュの価値をお約束する、選べる5つのプラン

- グルメ
- 宿泊
- エンタテインメント
- ゴルフ
- リラクゼーション

お求めは弊のJTB各支店・JTBトラブランド各店プレミアージュ取扱店で、オンラインサービスセンター 0570-039-714 www.jtb.co.jp/gift/

平成二十一年七月十六日は
『立正安国論』奏進七五〇年
を迎えます



(平成二十年九月現在)

日蓮宗宗務院

| | | | |
|------|-------|----------|-------|
| 管長 | 酒井 日慈 | 財務部長 | 駒野 教源 |
| 宗務総長 | 小松 淨慎 | 宗務総長室長 | 長 亮行 |
| 伝道局長 | 川名 義顕 | 現代宗教研究所長 | 田澤 元泰 |
| 総務局長 | 張田 珠潮 | 参 与 | 堀江 宏正 |
| 伝道部長 | 齊藤 憲一 | 参 与 | 浅井 玄裕 |
| 教務部長 | 酒井 光雄 | 日蓮宗新聞社社長 | 垣本 孝精 |
| 総務部長 | 藤岡 暎邦 | | |

〒146-8544 東京都大田区池上一-三二-一五
電話 〇三(三七五)七七八一
FAX 〇三(三七五)七七八六

法華宗(本門流)宗務院

| | |
|------|---------|
| 管長 | 大塚 日正 |
| 宗務総長 | 原 井 慈 鳳 |
| 教学部長 | 桃 井 晋 城 |
| 庶務部長 | 矢 吹 慈 英 |
| 財務部長 | 加 藤 信 淨 |

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町二-一九-一
電話 〇三(五六一四)三〇五五
FAX 〇三(五六一四)三〇五六

顕本法華宗宗務院

| | |
|------|---------|
| 管長 | 中村 日玄 |
| 宗務総長 | 藤 崎 広 学 |
| 宗務次長 | 島 田 幸 晴 |
| 財務部長 | 藤 崎 行 学 |
| 布教部長 | 早 川 正 学 |
| 社会部長 | 阿 曾 久 成 |
| 教務部長 | 古 瀬 久 馨 |
| 庶務部長 | 津 村 乘 信 |

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一
電話 〇七五(七九二)七二七一
FAX 〇七五(七九二)七二六七

法華宗(陣門流)宗務院

| | |
|------|---------|
| 管長 | 椿 澤 日 壽 |
| 宗務総長 | 土 屋 善 敬 |
| 総務部長 | 佐 古 弘 文 |
| 教学部長 | 田 邊 円 祥 |
| 教化部長 | 佐 古 大 弦 |
| 財務部長 | 牧 野 秀 成 |
| 宗務参事 | 金 原 孝 宜 |

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨五-三三-一六
電話 〇三(三九一八)七二九〇
FAX 〇三(三三九一八)〇二二一

本門佛立宗宗務本庁

| | |
|-------|---------|
| 講 有 | 小 山 日 誠 |
| 講 尊 | 梶 本 日 裔 |
| 講 尊 | 野 崎 日 丞 |
| 宗務総長 | 佐 藤 日 鳳 |
| 宗務副総長 | 梅 田 日 芳 |
| 宗務副総長 | 嶋 田 幾 雄 |

〒602-8377 京都市上京区御前通一条上る東堅町二-一〇番地
電話 〇七五(四六一)一五六六
FAX 〇七五(四六四)五五九九

日蓮本宗宗務院

| | |
|------|---------|
| 管長 | 嘉 儀 日 有 |
| 宗務総長 | 原 智 功 |
| 総務部長 | 長 崎 秀 要 |
| 財務部長 | 原 田 智 光 |
| 教務部長 | 原 光 明 |

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇町四四八
電話 〇七五(七七二)三三三九
FAX 〇七五(七七二)五九一四

法華宗(真門流)宗務庁

| | |
|------|---------|
| 管長 | 田 中 日 生 |
| 宗務総長 | 竹 内 正 道 |
| 総務部長 | 上 田 浩 岳 |
| 教学部長 | 井 上 隆 啓 |
| 教化部長 | 木 村 完 祥 |
| 財務部長 | 堀 立 智 泰 |
| 社会部長 | 安 立 修 学 |
| 主 事 | 山 口 英 泰 |
| | 笹 木 研 吾 |

〒602-8447 京都市上京区智恵光院通り五上ル紋屋町三三〇
電話 〇七五(四四二)五七六一
FAX 〇七五(四四二)五六六六

本門法華宗宗務院

| | |
|------|---------|
| 管長 | 松 下 日 肆 |
| 宗務総長 | 藤 井 日 靖 |
| 総務部長 | 吉 村 頼 彦 |
| 宗務部長 | 増 田 隆 雄 |
| 財務部長 | 土 畑 信 教 |
| 教務部長 | 音 羽 隆 全 |
| 庶務部長 | 山 田 岳 隆 |

〒602-8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東入妙蓮寺前町八七五
妙 蓮 寺 内
電話 〇七五(四五二)三五二七
FAX 〇七五(四五二)三五九七

宗教法人 国柱会

| |
|-----------------|
| 主 田 中 壮 谷 |
| 理 事 長 安 中 又 六 |
| 門連常任理事 本 間 直 暉 |
| 門 連 理 事 仲 南 良 夫 |
| 門 連 理 事 石 見 哲 三 |
| 編 集 委 員 森 山 真 治 |

〒132-0024 東京都江戸川区一之江六一-一九-一八
電話 〇三(三六五六)七二二一
FAX 〇三(三六五六)九九八〇
<http://www.kokuchukai.or.jp>

京都日蓮聖人門下連合会


| |
|-----------------|
| 会 長 松 下 日 肆 |
| 副 会 長 永 田 日 洵 |
| 理 事 長 石 崎 光 教 |
| 副 理 事 長 藤 井 照 源 |

京門連事務局
〒606-8376 京都市左京区二条通川端東大菊町九六
頂妙寺布教会館内日蓮宗京都府第一宗務所内
電話 〇七五(七六二)二四一一
FAX 〇七五(七五二)九三三八

日本山妙法寺大僧伽

| |
|-------------|
| 首 座 吉 田 行 典 |
| 長 老 酒 井 天 信 |
| 長 老 今 井 行 康 |
| 長 老 池 田 行 朗 |
| 長 老 二 宮 和 嘉 |
| 長 老 木 津 博 充 |
| 長 老 川 岸 行 孝 |

日本山妙法寺大僧伽事務局
〒206-0812 東京都稲城市矢野口三五七-一番地
電話 〇四二(三七八)三三九五
FAX 〇四二(三七九)〇七四四

| | | | |
|---|--|---|--|
| <p>日蓮宗総本山 身延山久遠寺</p> <p>法主 内野日総 総務 井上瑞雄</p> <p>〒409 2593 山梨県南巨摩郡身延町身延 電話 〇五五六(六二)一〇一一 FAX 〇五五六(六二)一〇九四</p> | <p>日蓮宗大本山 池上本門寺</p> <p>賞首 酒井日慈 執事 野坂法雄 役員 一同</p> <p>〒146 8576 東京都大田区池上一一一一 電話 〇三(三七五)二二二二 FAX 〇三(三七五)三三五〇</p> | <p>法華宗(本門流)大本山 本興寺</p> <p>賞首 有原日龍 執事 圓成淳龍 役員 一同</p> <p>〒660 0862 兵庫県尼崎市開明町三一三 電話 〇六(六四一)三三二七 FAX 〇六(六四一)二四三六</p> | <p>顕本法華宗総本山 妙満寺</p> <p>賞首 中村日玄 執事 島田幸晴 執事 山本晃道 執事 中村英司 執事 湯原正純 執事 小川正義</p> <p>〒606 0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一 電話 〇七五(七九二)七二七一 FAX 〇七五(七九二)七二六七</p> |
| <p>法華宗(陣門流)総本山 本成寺</p> <p>賞首 椿澤日壽 執事 栗田孝之 執事 菅原壯玄 執事 鈴木顯正 執事 荒川公孝 執事 近藤正義 事務 五十嵐義昭</p> <p>〒955 0845 新潟県三条市西本成寺一一一〇 電話 〇二五六(三三)〇〇〇八</p> | <p>法華宗(真門流)総本山 本隆寺</p> <p>賞主 田中日生 執事 本多信正 執事 足立真正 書記 永岡悠正 書記 笹木研吾</p> <p>〒602 8447 京都市上京区智慧院通り五辻上ル紋屋町 電話 〇七五(四四二)五七六二 FAX 〇七五(四四二)五六六六</p> | <p>本門法華宗大本山 妙蓮寺</p> <p>賞首 松下日肆 執事 石崎光教 役員 一同</p> <p>〒602 8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東入妙蓮寺前町八七五 電話 〇七五(四五二)三五二七 FAX 〇七五(四五二)三五九七</p> | <p>多寶富士山 日蓮宗 本山要法寺</p> <p>賞首 嘉儀日有 大學 原治日 執事 原智功 執事 原智秀 執事 原智要 執事 原智明</p> <p>〒606 8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇町四四八 電話 〇七五(七七二)三三九〇 FAX 〇七五(七七二)五九一四</p> |
| <p>本門佛立宗本山 宥清寺</p> <p>住持 小山日誠 二十四世講有 執事 中西清乘 執事 伊藤隆之 事務局長 伊藤隆之</p> <p>〒602 8336 京都市上京区二条通七本松西入滝ヶ鼻町二〇五一 電話 〇七五(四六三)四六二〇代 FAX 〇七五(四六三)四六五一</p> | <p>日蓮聖人出家得度の霊跡 大本山 清澄寺</p> <p>別当 中條令紹 執事 佐々木光道</p> <p>〒299 5505 千葉県鴨川市清澄三二二一一 電話 〇四(七〇九四)〇五二五 FAX 〇四(七〇九四)〇五二七 団参には是非、研修会館をご利用ください。 一六〇名様まで可。</p> | <p>京都八本山会</p> <p>大本山 妙顯寺 賞首 南條日慈 大本山 本圓寺 賞首 吉田日厚 本山 頂妙寺 賞首 永田日洵 本山 妙覺寺 賞首 頂岳日選 本山 本満寺 賞首 伊丹日章 本山 本法寺 賞首 大塚日行 本山 立本寺 賞首 上田日瑞 本山 妙傳寺 賞首 野々垣日祐</p> | <p>日蓮宗霊跡本山 比企谷 妙本寺</p> <p>賞首 早水日秀 執事 立野正泰 執事 高作泰寛 事務 山務役職員一同</p> <p>〒248 0007 鎌倉市大町一一一五一一 電話 〇四六七(二二)〇七七七 FAX 〇四六七(二五)六九六七</p> |
| <p>日興上人御廟所 日蓮宗大本山 富士山重須本門寺</p> <p>賞首 本間日諄 執事 井出教道 執事 井野上正文 参 藤先博明 参 与 藤先博明</p> <p>〒418 0112 静岡県富士宮市北山四九六五 電話 〇五四四(五八)一〇〇四 FAX 〇五四四(五九)〇三〇三</p> | <p>日蓮宗大本山 中山法華経寺</p> <p>賞首 新井日湛 執事 藤井智光 財務 村尾貞榮 庶務 滝本善孝 法務 阿部善之 教務 高谷正之</p> <p>〒272 0813 千葉県市川市中山二一〇一一 電話 〇四七(三三四)三四三三 FAX 〇四七(三三四)一七九六</p> | <p>やくよけ祖師 日蓮宗本山 堀之内妙法寺</p> <p>山主 嶋田日新</p> <p>〒166 0013 東京都杉並区堀之内三二四八八 電話 〇三(三三三)六二四一 FAX 〇三(三三三)五〇〇七</p> | <p>日蓮宗本山 頂妙寺</p> <p>賞首 永田恵遠 参 与 山田信行 同 安藤隆司 同 伊東照司 執事 藤井孝源 執事 藤井孝源 同 川合陽雄</p> <p>〒606 8376 京都市左京区仁王門通川端東入大菊町九六 電話 〇七五(七七二)〇五六二 FAX 〇七五(七五二)一〇〇四</p> |
| <p>日蓮門下お題目初唱之霊場 日蓮宗本山東身延 藻原寺</p> <p>賞首 持田日勇 執事 増田寶泉 執事 富永一道 役員 一同</p> <p>〒297 0026 千葉県茂原市茂原一〇〇一 電話 〇四七五(二二)三二五三 FAX 〇四七五(二二)一七三三</p> | <p>宗祖御降誕霊場 日蓮宗大本山 誕生寺</p> <p>宗祖御降誕八百年に向かつての祈り</p> <p>賞首 石川日命 執事 村田教清</p> <p>〒299 5501 千葉県鴨川市小湊一八三 電話 〇四(七〇九五)二六二一 FAX 〇四(七〇九五)二〇五五</p> | <p>徳川家康公報恩創建 日蓮宗由緒寺院 瑞輪寺</p> <p>除厄安産飯匙の祖師・七面大明神奉安</p> <p>賞首 井上日修</p> <p>〒110 0001 東京都台東区谷中四二二一五 電話 〇三(三八二)四三三三 FAX 〇三(三八二)七〇三三</p> | <p>平成三十三年二月十六日は 宗祖御降誕八百年を 迎えます</p> <p>(平成二十年九月現在)</p>  |

門連時報

身延理事会開催さる

平成二十年五月二十八日(水) 日蓮宗本山身延山久遠寺で、「日蓮聖人門下連合会祖廟参詣・身延理事会」が開催され、全国日蓮聖人門下連合会顧問・



平成20年5月28日身延理事会

常任理事・理事・監査・京都門下連合会代表・大阪門下懇話会代表など計十五名が参加した。
午前十一時に集合し、祖廟並びに御草庵にて法味言上。その後常唱殿前にて記念撮影。続き、大本堂にて法味言上し、報恩閣に移動。午後一時半より理事会が開催された。
小松浄慎理事長が座長となり議題に沿って議事を進行。先に、「平成十九年度事業報告」を事務局より報告、常任理事会・理事会・監査の開催、門連だより発行に関する機関紙編集委員会の開催、各派門連役員の変更等についての報告がなされ、続いて、「平成十九年度決算報告」について事務局より報告後、持田日勇監査より監査会での報告

《京都日蓮聖人門下連合会》立教開宗会奉行

立教開宗の聖日、四月二十八日、京都日蓮聖人門下連合会は比叡山横川定光院に於いて「立教開宗会」を奉行、門下連合会各派、本山貫首、僧侶、檀信徒百三十名が参加した。
法要に先立ち、日蓮宗京都府第一部布教師会長大西秀樹師が「蓮華の教え」と題し講話した。

法要は今年度当番の本門法華宗大本山妙蓮寺が担当、大導師に歴世貫首松本日望院下を招請、副導師に理事長石崎光教師(大本山妙蓮寺執事)、副理事長藤井照源(日蓮宗京都府第一部宗務所長)が務めた。

石崎理事長の開会のあいさつに始まり、立教開宗会を厳修、ご来賓を代表し比叡山延暦寺副執行小林祖承師(総務部長)があいさつ、藤井副理事長の謝辞をもって閉会した。

一行は昼食後、源氏物語千年紀で賑う石山寺を見学し解散した。

京都日蓮聖人門下連合会は年間四大事業として、降誕会・夏季大学・御会式・開宗会を奉行している。立教開宗会は長年にわたり比叡山大講堂で奉行してきたが、平成十七年横川定光院本堂大改修を機に当道場で行っている。(藤井照源)



がなされ一同承認。

次に、「平成二十年度事業計画案」について事務局より報告、祖廟参詣、理事会開催、門連だよりの年二回(三十八号・三十九号)の発行について説明し、続いて、「平成二十年度予算案」について事務局より報告がなされ一同承認。

次に、「地方門連活動に関する報告」を京都門下連合会・石崎光教師理事長、並びに大阪門下懇話会・和田龍昌理事長より報告がなされた。

また、「日蓮聖人展(通称)」について、京都国立博物館並びに日本経済新聞社との協議の結果、立正安国論奏進七五〇年記念特別展の正式名称を「日蓮と法華の名宝」華ひらく京都町衆文化」と決定したことを「日蓮聖人展」担当より報告がなされた。

「その他」の事項では、門下連合会予算の逼迫状況、来年度の「日蓮聖人展」における常任理事会開催等、諸経費の負担を考慮し、来年度より分担金の増額をしてほしい旨が事務局より報告され一同承認。また、「日蓮聖人展」において緊急を要する場合は常任理事会にて諮ることを一同承認した。

新刊紹介

『法華宗全書』第二回 『妙経直談抄』 発行

本書は原文と訓み下し文とから成り、戦前刊行の「日蓮聖人全集」第一巻・第二巻が未刊で稀観書となっていたものを今回、法華宗宗祖・開基・先師聖人報恩奉讃会事業の一環として装いを新たに刊行。

『妙経直談抄』は全巻を四分冊とし、このたびは涌出・寿量品釈と従来未刊の分別功德・随喜功德・法師功德品釈を含めた第三巻とし、順次全巻刊行を目指すものです。

『法華宗全書』日忠1
妙経直談抄Ⅲ
B5上製函入●八六三頁
●定価一八、〇〇〇円
発行・法華宗(本門流)宗務院
東京都中央区日本橋人形町
二の一九の一
電話〇三(五六一四)三〇五五
FAX〇三(五六一四)三〇五六

「日蓮と法華の名宝」開催決定

午後三時三十分閉会。
会場を日本平ホテルに移し、午後六時より懇親会を開催し、会員相互の親睦を深めた。

午後三時三十分閉会。
会場を日本平ホテルに移し、午後六時より懇親会を開催し、会員相互の親睦を深めた。

平成二十一年は、「立正安国論」奏進七五〇年の佳節にあたります。その記念として日蓮聖人門下連合会では、立正安国論奏進七五〇年記念特別展「日蓮と法華の名宝」華ひらく京都町衆文化」を平成二十一年十月十日より十一月二十三日まで、京都国立博物館に於いて開催することとなりました。

日蓮聖人門下連合会では、平成十五年初頭、東京国立博物館に於いて宗祖ゆかりの宝物及び法華経信仰に関わる芸術品を一同に集め、立教開宗七五〇年記念「大日蓮展」を開催致しましたが、そこは単なる展覧会ではなく、宗祖の御生涯と法華経信仰を目的とした、門下僧侶による法華の道場として、門下僧侶をはじめ多くの一般の方々が見学されたのは記憶に新しいところです。

それより六年を経て開催される、この立正安国論奏進七五〇年記念特別展「日蓮と法華の名宝」華ひらく京都町衆文化」を今回、法華宗宗祖・開基・先師聖人報恩奉讃会事業の一環として装いを新たに刊行。



| 年月日 | 氏名 | 宗派 | 門連役職 | 就任 | 退任 |
|-----------|-------|---------|------|----|----|
| 平成二〇・七・一五 | 高邊日援師 | 本門法華宗 | 顧問 | 就任 | 退任 |
| 平成二〇・七・一五 | 山下通雄師 | 本門法華宗 | 常任理事 | 就任 | 退任 |
| 平成二〇・八・一三 | 藤井日靖師 | 法華宗本門流 | 顧問 | 就任 | 退任 |
| 平成二〇・八・一三 | 有原日龍師 | 法華宗本門流 | 顧問 | 就任 | 退任 |
| 平成二〇・八・二六 | 高邊日援師 | 京都門下連合会 | 顧問 | 就任 | 退任 |
| 平成二〇・八・二六 | 松下日肆師 | 京都門下連合会 | 顧問 | 就任 | 退任 |
| 御遷化 | 多門顕正師 | 顕本法華宗 | 編集委員 | | |
| 平成二〇・七・七 | | | | | |

毎月3回お届けします。信仰・ふれあい・笑顔・・・

宗門唯一の
伝道紙

日蓮宗新聞

毎月1日・10日・20日
年間購読 3,600円(送料込)

教誌 正法

年4回発行 年間購読 1,700円(送料込)
一冊350円(送料別)

お正月(1月号) 春季彼岸(3月号) お盆(7月号) お彼岸・お会式(9月号)

お申込みは 日蓮宗新聞社まで 〒146-0082 東京都大田区池上7-23-3 電話03-3755-5271 FAX03-3753-7028

各派・教団・短信

日本山妙法寺

◆平成二十年二月十一日、七月十一日、アメリカ・ロングストーク(サンフランシスコ・ワシントン DC)に参加。

日蓮宗

◆終戦記念日の八月十五日、日蓮宗では東京・千代田区の千鳥ヶ淵戦没者墓苑で「戦没者追善供養並びに立正平和祈願法要」を営み、僧侶信徒約多数が参列した。

員、青年会員が出仕して、戦争で尊い命を落とした犠牲者の冥福を祈ると共に、世界平和への誓いを新たにした。

法華宗本門流

◆任期満了により全十三教区宗務所長が改選され四月一日付をもって次の者が就任。

日蓮宗

◆終戦記念日の八月十五日、日蓮宗では東京・千代田区の千鳥ヶ淵戦没者墓苑で「戦没者追善供養並びに立正平和祈願法要」を営み、僧侶信徒約多数が参列した。

岩法難会」が厳修され、本年も全国寺院より多くの檀信徒が参拝した。

本門佛立宗

◆三月二十七日、宗務本庁(京都)で佛立教育専門学校と佛立研究所の共催の「第十七回研究発表大会」が開催された。

日蓮宗

◆終戦記念日の八月十五日、日蓮宗では東京・千代田区の千鳥ヶ淵戦没者墓苑で「戦没者追善供養並びに立正平和祈願法要」を営み、僧侶信徒約多数が参列した。

人(京都市常住院住職)が推戴され、同日付で就任。本門法華宗宗務所長に藤井日晴宗務所長(大阪府・本妙寺住職)が選定された。

本門法華宗

◆三月三十一日、宗務本庁(京都)で佛立教育専門学校と佛立研究所の共催の「第十七回研究発表大会」が開催された。

日蓮宗

◆終戦記念日の八月十五日、日蓮宗では東京・千代田区の千鳥ヶ淵戦没者墓苑で「戦没者追善供養並びに立正平和祈願法要」を営み、僧侶信徒約多数が参列した。

◆六月二十七日、第九十六回本門法華宗宗務所総会が開催され、本門法華宗宗務所長に、松下日肆上(京都市常住院住職)が推戴され、同日付で就任。

本門法華宗

◆六月二十七日、第九十六回本門法華宗宗務所総会が開催され、本門法華宗宗務所長に、松下日肆上(京都市常住院住職)が推戴され、同日付で就任。

日蓮宗

◆終戦記念日の八月十五日、日蓮宗では東京・千代田区の千鳥ヶ淵戦没者墓苑で「戦没者追善供養並びに立正平和祈願法要」を営み、僧侶信徒約多数が参列した。

◆六月二十七日、第九十六回本門法華宗宗務所総会が開催され、本門法華宗宗務所長に、松下日肆上(京都市常住院住職)が推戴され、同日付で就任。

本門法華宗

◆六月二十七日、第九十六回本門法華宗宗務所総会が開催され、本門法華宗宗務所長に、松下日肆上(京都市常住院住職)が推戴され、同日付で就任。

日蓮宗

◆終戦記念日の八月十五日、日蓮宗では東京・千代田区の千鳥ヶ淵戦没者墓苑で「戦没者追善供養並びに立正平和祈願法要」を営み、僧侶信徒約多数が参列した。

◆六月二十七日、第九十六回本門法華宗宗務所総会が開催され、本門法華宗宗務所長に、松下日肆上(京都市常住院住職)が推戴され、同日付で就任。

本門法華宗

◆六月二十七日、第九十六回本門法華宗宗務所総会が開催され、本門法華宗宗務所長に、松下日肆上(京都市常住院住職)が推戴され、同日付で就任。

日蓮宗

◆終戦記念日の八月十五日、日蓮宗では東京・千代田区の千鳥ヶ淵戦没者墓苑で「戦没者追善供養並びに立正平和祈願法要」を営み、僧侶信徒約多数が参列した。

日蓮聖人門下連合会

◆本会は日蓮聖人の理想を実現するため、祖廟を中心として門下各派及び教団並びに地方門下連合会の連絡、協力、團結を強化することを目的とする。

- 目的
●事業
●加盟団体
●本部
●本部
●本部